

平成 30 年度

大井川の源流を学ぶ視察会

実績報告書

視察日 平成 30 年 10 月 25 日（木）～ 26 日（金）



田代ダム取水口付近より上流部を望む

大井川の清流を守る研究協議会

平成30年度 大井川の源流部を学ぶ視察会 参加者名簿

No.	氏名	男女	住所地、市町名	備考
1	鈴木 菊治	男	島田市	
2	鈴木 早苗	女	島田市	
3	富永 誠	男	島田市	
4	栗田 一吉	男	掛川市	
5	村松 武	男	掛川市	
6	黒田 久	男	菊川市	
7	吉永 せつ子	女	吉田町	
8	横山 嘉春	男	菊川市	
9	衛藤 毅	男	菊川市	
10	増田 雅昭	男	島田市	
11	増田 玲子	女	島田市	
12	村松 正夫	男	島田市	
13	村松 しげ子	女	島田市	
14	吉永 修躬	男	吉田町	
15	岡本 和浩	男	菊川市	
16	芝 晴美	女	吉田町	
17	鈴木 真弓	女	静岡市	
18	樅木 ヒロ子	女	焼津市	
19	齋藤 壽彦	男	磐田市	
20	古山 康德	男	静岡市	
21	古山 真帆	女	静岡市	
22	小澤 節子	女	講師	
23	太田 英亮	男	事務局	
24	長島 誠	男	事務局	

※ 一般参加者 男性:13名、女性:8、講師:女性1名、事務局:男性2名の計24名

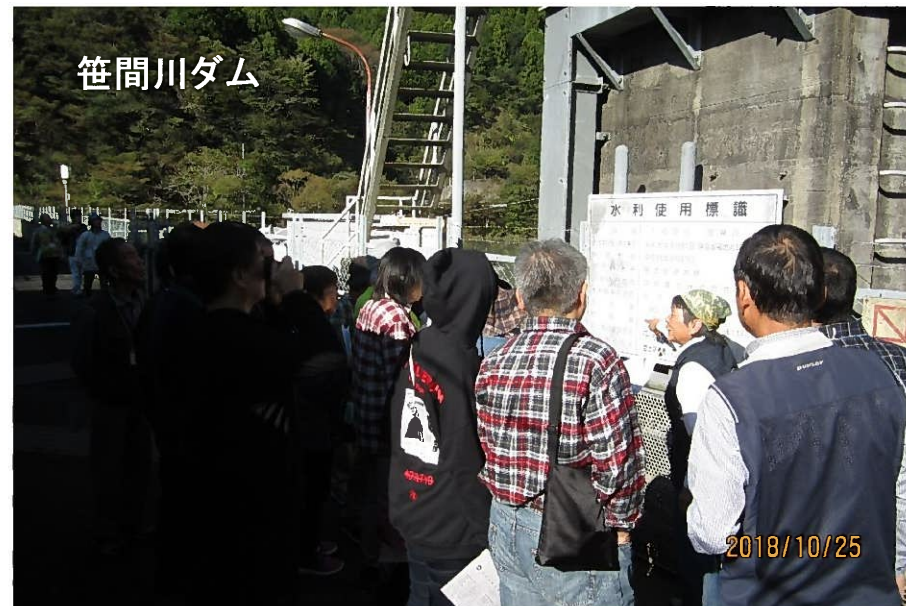
平成30年度 大井川の源流部を学ぶ視察会 日程 (実績)

期 日	項 目	時 間	行 程 及 び 説 明 内 容
10月25日 (木)	島田駅南口 (ロータリー) 集 合	7:40	
	概 要 説 明	7:40～ 7:50	研修会の概要説明、視察資料の配布、説明 * 7:50出発
	笹間川ダム	8:32～ 8:50	大井川上流で取水され発電に利水された水は、下流の発電所に送られて再度利水され、一度も大井川本川に戻されることなく笹間川ダムに集められます。その後、さらに下流の川口発電所へ送水されます。
	塩郷堰堤	8:56～ 9:24	この堰堤は、大井川ダム及び支流寸又川合流点下流の余水を集めて笹間川ダムに送水しています。堰堤建設から30年間(水利権)ゲートを降ろして貯水を始めると一滴の水も流れず、河原砂漠が出現。1989年(28年前)に「水返せ運動」によって、堰堤の下流に5tの水が流れることになりました。
	四季の里	9:30～ 9:24	トイレ休憩
	榛原川取水口	9:48～ 9:58	榛原川から取水している榛原川えん堤を確認します。
	大井川発電所上部	10:04～ 10:14	明治40年に計画され大井川電力(株)が昭和6年に完成した、大井川発電所。
	牛の首(小山)	10:27～ 10:38	大井川で2番目に建設された発電所跡
	大井川ダム 奥泉発電所	10:49～ 11:35	大井川ダムは、大井川発電所(崎平)の取水のために、大井川本川を堰き止める最初にできたダムです。奥泉ダムより取水された水が、このダムに放流されていて、ダムの右岸にはそのための水圧鉄管や発電所があります。
	接岨峡温泉会館	11:50～ 12:35	昼食・休憩
	井川ダム	12:55～ 13:30	井川ダムは、わが国で初めての中空重力式(ホーロー・グラビティ)タイプを採用し、昭和32年9月に竣工し日英水力電気(株)が調査してから50年目に実現した。高さ100メートル直下の左岸の井川発電所は落差92.7メートル、最大出力62,000kwです。年間流量の調整と洪水調節・農業用水・飲用水の安定供給を図っています。
	てしゃまんくの里	13:50～ 14:00	トイレ休憩
	畑薙第一ダム	14:30～ 15:05	畑薙第一ダムは、大井川上流部に建設された中空重力式(ホーロー・グラビティ)ダムとしては世界で最も高い、高さ125mのダムで、下流の畑薙第二ダムとともに初めて混合揚水式発電を行うダムとして建設されました。
	赤崩れ	—	大井川上流部の大きな崩壊地 (下車せず通過)
	樫島ロッヂ	16:10～ 16:12	
	燕沢土捨場	—	中央新幹線(リニア)の建設土砂土捨場予定地 (下車せず通過)
千石大橋	—		
二軒小屋ロッヂ	16:47	夕食(18:00) 21:00 消灯	

期 日	項 目	時 間	行 程 及 び 説 明 内 容
10月26日 (金)	二軒小屋ロッヂ	7:00 7:50	朝食 ロッヂ出発
	田代ダム 取水水路 取水口 本川流路(滝)	8:05~ 9:00	<p style="text-align: center;"><u>田代川第二発電所(東電)とのかかわりについて</u></p> <p>1. 大井川の本川から山梨県早川(富士川水系)へ導水されている 2. 最大取水量4.99m³/s 最大使用水量 5.34m³/s 3. 水路延長 田代川第二(発) 6,200m 落差 500.9m " 第一(発) 5,800m 落差 350.2m 計 12,000m 851.1m 4. 田代ダムの標高 1,400m 田代川第二(発)の標高 900m 5. 水利権取得 大正10. 2. 7 発電用水許可期限 平成37. 12. 31</p> <p>○H27年12月の水利権更新においては、H17年更新時の合意事項による「河川維持流量(季節により0.43~1.49m³/sとする)」を継続することで合意を得ています。ただし、12/6~3/19における必要流量1.62m³/sについては引続き検証することとしています。 なお、許可期限は10年となっています。</p>
	二軒小屋ロッヂ	9:15	出発 9:15
	樫島ロッヂ	9:48~ 10:26	トイレ休憩
	畑薙第一ダム	11:27	
	白樺荘	11:40~ 12:48	昼食・休憩
	長島ダム	13:55~ 14:57	国土交通省直轄の多目的ダムで、洪水調整のほか農業用水・水道用水の補給の水利を調整します。 長島ダムのコンジットゲート(ダムの中腹のゲート)は、日本最大級の大きさです。
	四季の里	15:27~ 15:40	トイレ休憩
地名発電所跡	15:50~ 16:05		
島田駅南口 (ロータリー) 到着	17:00	解散 *浜松方面 17:09・29・48発 静岡方面 17:06・22・37発	

※ 畑薙第一ダムから二軒小屋ロッヂまでの移動は、二軒小屋ロッヂの送迎バスを利用し、移動。

大井川源流部を学ぶ視察会 (H30.10.25~26)











平成 30 年度「大井川の源流を学ぶ視察会」に関する意見・感想について

○参加者数：21 人（内回答者数：21 人）

○視察会開催をどのような形で情報をえましたか。

- ・新聞掲載・・・・・・・・・・16 人
- ・視察会のチラシ・・・・・・・・2 人
- ・友人等からの紹介・・・・・・・・2 人
- ・市町のホームページ・・・・・・・・1 人

○河床の変化や兩岸の山腹崩壊など、大井川上流部の現状を知っていましたか。

- ・知っていた・・・・・・・・・・6 人
- ・知らなかった・・・・・・・・・・14 人
- ・関心がなかった・・・・・・・・1 人

○大井川の現状を視察して、どんなことを感じましたか

- ・山腹崩壊を知っていたとはいえ、現状に驚きました。今迄から将来にわたって大井川水系の恩恵を受けている私たち。大自然の雄大さを改めて知り、目にする事ができました。その自然に向かって開発に、改善に努めている方々、先人たちに敬意を持っています。人間にとって水の競いは絶えることのないものと改めて感じました。（生物、人、事業等）多才な小澤先生の思いを感じながら参加させていただいた一人としての意見や思いを周りの仲間たちと突き詰めていく必要を感じました。（菊川市）
- ・ダムが沢山あったが、そんなに必要なのか。山腹崩壊が多すぎ、なんとか発生させない措置が必要と思います。山林所有者の話し合い。（静岡市）
- ・山腹崩壊による河床の上昇。ダムにより土砂が下流に流れないということではありますが、山腹崩壊を防ぐためにも治山事業の拡大の必要があるのではと思いました。積雪の減少も水量の減少につながるということで、関係市町のみならず、県単位での事業が必要と思います。（静岡市）
- ・ダムの功罪について考えさせられる機会となりました。このまま文明にどっぷり浸っていただけないと思います。私は、天竜川水系に住んでいますが、天竜川と大井川では、川の持つ特性が大きく違うように思います。大井川は、急流で谷が深いせい故に電源開発の名のもとに早くから食いつぶされてしまった（開発されつくした）ように感じました。源流部のあの澄んだ清流を、自然の流れが、再びよみがえることは無いわけですが、かつては、この様な清流であったことを多くの人に知ってもらうことは、大切なこと

だと思えます。(磐田市)

- 台風時等の流木や浸食問題、山崩れ、多くの課題を抱えていると思えます。(島田市)
- 目から鱗！百聞は一見にしかず！奥大井の川、山を見て大変なことが起こりつつ、怒っていることを確認しました。今後 20 年、30 年後は？一体どの様に変化するのか？電力会社に責任を負わせるだけでは問題解決には至らないだろうし。地域の問題、国、行政でどのように折り合いを付けるのか、今から早急に手を打つ必要があるのでは？(島田市)
- 大雨、台風等により山の崩壊で河川への影響が多く見受けられ、回復するのに相当の年月や費用がかかると思いました。(菊川市)
- ダムからの上流部の荒れ方にはびっくりしました。山腹の崩壊が一番の原因でしようが、これまでとは知りませんでした。とにかく大変な事です。災害によると雨、風、地震も心配、瞬時に被害を受けますので、10 年～20 年～30 年後、本当に心配です。(吉田町)
- 自然災害とダム設置のために、水の汚れがひどく、川の近隣に影響が大きく悪いこと。ダム建設による被害は、建設時のみならず、現在にそして、これからにも続くことを感じた。特に川底が上がっている現状にはひどくショックでした。(焼津市)
- 山が荒れているけど自然現象なのかなと思いました。堆積した土砂は、ダムがなければ徐々に下流へ運ばれ、自然な川を形成するだろうけど、現状とどう変わるのか想像はできませんでした。上流の水は透明感があり、飲料水にそのまま使えればと思いました。(菊川市)
- 土砂の堆積については、なんとかならないのかとつくづく思った。ダムを壊すしかないのでは？山の力が弱まっているのではないか、それに台風被害が追い打ちをかけているように感じる。水の無い大井川の実態をもっと広く PR するべき、上流で奪われた水の行方をもっと知らしめるべき。(掛川市)
- 地元(旧中川根町)で生まれ、山を見て川で過ごしたが、源流部がどうなっているのか、もしかして ちょろちょろの水流かと思っていました。二軒小屋で東電の説明を受けて、源を見て水流の多さにびっくりしました。ダム湖が濁っている所、とてもきれいなコバルトブルーの色をした所、どうしてかと思いましたが、説明を受けて分かりました。山肌がどんどん崩壊していくのには心痛みます。自然との戦いと思いました。(吉田町)
- 後 50～100 年後、大変な川になってしまっているのかな？(島田市)

- 今回初めての参加でしたので見る事、聞いた事すべてが驚きでした。水の大切さを今以上に知りました。自然がいっぱいでとても感動しました。参加させてもらって良かったです。(島田市)
- ダム発電所が思った以上に多かった。本流が違うことも初めて知った。維持流量など知らないことが多く考えさせられた。上流は山腹崩壊が進み、なんとかならないものかと思う。リニアの問題も自然崩壊が進み、南アルプスをゴミ(残土)置場にしてほしくない。(島田市)
- ① 源流部大規模崩落による濁り水の原因及び発電水管の速読に伴う下流まで継続すること、ダムに入っても水質による沈殿が遅いこと
② 地域経済産業発展の基盤となる電源の安定確保への取り組みの状況
③ 上流部の堆積物の上昇に伴う水量減の現状(菊川市)
- 大井川は日本の宝だと思いました。これだけダムがあり、水量等のコントロールがなされていることにも驚きました。又このまま大井川の変化が続けば川の消滅と水確保に多大な影響が予測できます。(島田市)
- 自然の恵みと脅威を感じました。山崩れを防ぐ方法はないのだろうか?川にたくさんの木材が流れ込んで貯まっていたが、放置しておいてよいのだろうか?ダムによって、土砂が堆積していくのをどうしたらよいのだろうか?(吉田町)
- 想像以上に川が傷んでいるという印象でした。利水と環境保全のバランスを可能な限り調整しようと各機関が努力されている姿に感銘しましたが、ひとたびは大きな自然災害に遭うと人間の努力はひとたまりもないと痛感します。(静岡市)
- 大井川の開発は、電源開発を目的とした事業者の力によって行われたものである。今日に至るまで流域住民への多くの犠牲(ダムによる環境変化、林業、水資源)によって成り立ってきたものだと思っていた。大井川にできたダムにより、ダムの上流部の堆積土砂、下流部の河床低下、海岸浸食、本川への流量の減少など、流域全体に影響を及ぼしていることを感じた。特に、ダムの堆積土砂がここまで進んでいるのかと改めて知ることができた。今から、対策を考えていかなければ後世に大きなツケを残すのではないかと思う。中部電力の職員にダムの堆積土砂の事を聞いたが、一企業では解決できない問題だと言っていた。国策により大井川の電源開発が行なわれていたとはいえ、電力会社の責任もあるのではないかと思う。国、県、流域市町、電力事業者等官民一体となって解決をしていかななくてはならない問題だと思う。新たな問題として、大井川最上流部がリニア中央新幹線のルートになっており、トンネルの掘削土砂の捨て場が燕沢付近になっている。今でも大井川源流部は、山腹崩壊、ダムによる河床上昇、電力開発

による本川への流量減少など多くの問題があるのも関わらず、新たな問題としてリニアによる流量減少、残土処理等が浮上してきたと思う。ユネスコエコパークに南アルプスが指定されているが、固有な動植物が生息する豊かな自然があるということですが、今以上に大井川源流部を傷つけないようにしたいものである。(榎島ロッジによる不法投棄が確認されたという残念なニュースが視察から帰ってきてからニュースで知った。所有者である特殊東海製紙に猛省をしてもらいたい。)(掛川市)

- ・山腹崩壊と河床上昇は、想像以上に進行し、大井川流域が荒廃していることに驚いた。」さらに導水管での送水のため、河川水による循環機能を減損させ、生態系を壊し、流域住民の生活に影響を及ぼしていることに下流域に住む我々は、関心を持つべきであると感じた。(島田市)

○行政や流域住民はどんなことをやっていったら良いと考えますか

- ・将来のために水の大切さと大井川水系の流水や利水について一人でも多くの仲間知っていただける機会が改めてあればと思います。(具体的でなくて申し訳ありません。)(菊川町)
- ・山をきれいにする。治山事業が大切だと思います。(静岡市)
- ・現状を維持することが重要と思われま。自然を回復するためには大きな予算が必要となりますが、予算確保も困難と思われま。住民、市町、電力関係者等で主張は異なると思われまが、協議会、勉強会等の意見交換できる場を多く設け、歩み寄りをするのが大切だと感じま。(静岡市)
- ・小澤さんのような人によって幅広い奥深い知見を活用してさらに広めてほしいと思いま。地域(エリア)外から参加させていただきましたが、今後も機会があり、許されるなら是非参加させていただきたいと思いま。ダム、河川の今後、将来の姿を考えてみるのもいいと思いま。アメリカでは耐用年数が過ぎて使われなくなっだダムを壊してもとの自然な姿にもどしていく運動が始まっています。(磐田市)
- ・清流を守るために流域市町が一体となっだ大井川の環境保全に取り組む姿勢が必要だと思いま。現状を見ると特に思いま。(島田市)
- ・利益優先だけが目的ではなかろうと思いま(電力会社)が、現在の現地の状態を国も県、市町村と具体的に話合検討を一刻も早い時期に行うべき、又行ってほしい。重大な災害が起こっだからでは遅すぎると思いま。(島田市)
- ・今回、大井川の源流部を学ぶ視察会に参加して、大井川の水が如何に有意

義に使用され重要な役目を果たしているかを知り、驚いています。河川は単なる降雨の処理のために有るとばかり思って居ましたが、用途を知り、必要な役目を担っているのだと思い知らされました。最近異常気象が頻発しており、河川の氾濫等が起きていますが、地球温暖化が原因ともいわれていますので、温暖化を少しでも減らすことを心がけて行きたいと思えます。(菊川市)

- とにかくアピールして知ってもらう事が急務です。空港の 2 階に長島ダムのパスターが貼ってありました。ダムと土流の現状を知ってもらう事が大事です。(吉田町)
- 畑薙第一ダムの水質を詳しく、正しく、県民に情報提供することを求める。地域は声をあげられないのかな？(焼津市)
- 大井川の水利用は長い年月をかけて同意を形成してきて、今の形になったと思います。電力事業者、住民、その他利水者がそれぞれ目指す将来像を発信し、多くの県民に、水利用の方向性を発信してもらいたいと思います。(菊川市)
- 人は目に見えることしか理解できないので、大井川の下をパイプラインで水が通っているなんて想像さえできない。実際の大井川の地図に地下パイプラインの地図を載せ、水量も表記したものを作成したらどうか(掛川市)
- 水は大切な物と言う事を知って欲しいです。大井川水系は、工場には制限が行きますが、家庭には制限ありませんので。又河川にゴミを捨てない事をしてほしいです。吉田の海岸ゴミ多いです。川、又海岸を利用したらゴミを持ち帰る事等してほしいです。(吉田町)
- 今は、分からない。(島田市)
- 行政としては、流域住民に今の大井川の現状を知ってもらう活動をする事。(流域住民でありながら知らないことが多い。)南アルプスは、個人(企業)所有であることが今まで手つかずの自然、車を制限することにより環境を守られているので流域住民も一緒になって守っていききたい。(島田市)
- リニア中央新幹線のトンネル工事を伴う水量減が問題となっている時であり、テレビ放映による大井川の現状を伝える、生活、工業、農業へのかかわり、水源からダム、えん堤による洪水対策、電力需要への対応、状況、自然と開発の現状等について大井川の関心を高める。(菊川市)
- 大井川流域の貴重な自然を先ずは見る事。地域のネイチャーガイドの育成と子供たちへの啓発が次世代へ意識のバトンタッチになると思います。日本の宝、運動の展開。(島田市)

- ダムに溜まる土砂の撤去方法を考えて、実施して行く為に、どんなことをしたらいいのだろうか思案中です。個人では、電気の無駄遣いをしない、水の無駄遣いもしないこと、社会全体が節電を考え、仕組みを作って実施する必要がある。山崩れを防ぐ、山の治水を守るために植林活動をしてはどうか？（吉田町）
- 現場を知る、知らないでは、意識の持ち方が違います。まずこのような、視察会を地道に継続して頂きたいと思います。メディア関係者対象のツアーも企画して下さい。（静岡市）
- 電力事業者、行政、流域住民と大井川の抱えている課題を話し合い、時間は掛かると思いますが、地道に解決していくことが大事だと思う。協議会や市町での学習会や視察を行い、多くの住民に知ってもらうことが必要である。（掛川市）
- 南アルプスユネスコエコパークに登録されたが、行政や商工会などは観光客増加による地域経済活性化が第一義的になっていないだろうか。南アルプスの自然を守り、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的」とした地道な活動を未来永劫にわたる活動を継続することによって、人々に感動を与え、訪れる人が増え続けるのではないだろうかと思います。（島田市）

○その他

- 関係する市町の住民に問題意識を持ってもらうため、積極的に情報発信した方が良いと思います。（静岡市）
- ありがとうございます。土砂は、近い将来、人間の住む地域に押し寄せてきませんか？自然を制御しきれないと思います。（磐田市）
- 美しい自然の中で満喫できました。多くの事を教えて頂いた視察会とても良かったです。ありがとうございます。（島田市）
- 水の重要性、なくてはならないものであると痛感。水の使用にも多くの方々の手を経ているのに感謝。水の恵みを受けている家族にも良く話して感謝の念を持たせたい。（島田市）
- 温暖化を少しでも減らす事を心がけて行きたいと思います。（菊川市）
- 楽しみに参加することが出来ましたが、とにかく金星は、お天気です。2日間、お世話様でした。同行の車に荷物を預けましたが、助かりました。（吉田町）

平成 30 年度「大井川の源流を学ぶ視察会」に関する意見・感想

- 原発やダムには反対の立場です。電気は必要最小限に。障害のある方の為の必要、命の危険の為の必要などは、原発悪くても可能。「便利な生活＝幸せ」ではない。(焼津市)
- 2日間小澤さんのガイド、又榎島ロッジで帰りに説明して森と林の違いを勉強できました。高齢になって参加出来た事、嬉しく思います。又リニアが出来たらどう変わって行くのかも見て知りたいと思います。次回参加出来る事を願っています。(吉田町)
- 講師小澤さんの詳細で幅広くユーモアを交えた説明により一層、知識を深めた。特にリニアのトンネルに関しては本当にありがとうございました。(菊川市)
- 有意義な研修をありがとうございました。これからも色々な人が参加して頂いて、環境や電気、水について考えることをやり続けて下さるようお願いいたします。(吉田町)
- ぜひ次回も参加したいです。(静岡市)
- 掛川市は大井川の水を利用させてもらっている立場であるが、今まで大井川のことを余りにも知らなかったので、今回の視察に参加させていただき良かったと思いました。ガイドの小澤節子さんの大井川に対する熱い思いに感銘を受けました。川根本町の長島さん、太田さんありがとうございました。(掛川市)
- 用水・中流域・源流部の視察会を10数年に渡って実施している地道な活動に敬意を表します。参加者の大部分が高齢者ですが、若い世代への啓蒙のため、現役者が参加しやすい日程等の計画を作成していただけたらと思います。すばらしい視察会なので更なる発展を祈って！
(島田市)